大阪市立総合医療センター
Osaka City General Hospital

和

Wa

2022 新春号
Vol.60

◆「新年のご挨拶」

◆チーム医療の活動紹介
「栄養サポートチーム（NST）の活動」

◆がん診療について
「消化器がんに対するロボット手術」

◆治療最前線
「新型コロナウイルス感染症の最新治療」

◆連携登録医の紹介

◆栄養だより
「玄米餅のお雑煮」

新年のご挨拶

ー「新型コロナ危機」の渦中でー

大阪市立総合医療センター
病院長　　瀧藤　伸英

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より大阪市立総合医療センターをご利用いただきまして、職員一同心より感謝申し上げます。年頭にあたり一言ごあいさつを申し上げます。

一昨年１月から始まった今回の「新型コロナ危機」は丸２年が経過し、２度目の正月を迎えました。昨年の第５波ではデルタ株が猛威を振るい、８月には新規感染者数が１日２万人を超えました。

当センターも当初より率先して重症や中等症の新型コロナ患者の治療を数多く行ってきました。とくに人工呼吸器やエクモが必要な重症患者には多くの看護師が必要ですので、患者急増の折には、複数の病棟を休止せざるを得ませんでした。そのうえ救急も大部分を止めることになりました。

当センターはご存じのように、がん医療では「高度型の地域がん診療連携拠点病院」、「小児がん拠点病院」、「がんゲノム医療拠点病院」の３つ全てに指定されており、「AYA世代専用病棟」や「緩和ケア病棟」も備えています。

救急医療では「３次救急医療機関」かつ市内唯一の「小児救命救急センター」でもあります。またハイリスク分娩や高度な新生児医療を行える「総合周産期母子医療センター」です。代替が難しいこれらの高度な専門医療を一部でも休止せざるを得なかったことを、患者さまおよび市民の皆さまにはお詫び申し上げます。

８月には１日２万人を超えた新規感染者数も１１月初めには２００人前後と急減しています。大阪でも１１月１日には新規感染者が７人と２０２０年７月以来の１桁でした。

この第５波の患者数急減の理由はよく分かっていません。日本の遅れたワクチン接種が急速に進んだ時期がちょうどデルタ株の拡大時期と重なったとか、基本的な感染対策が文化として定着しつつあるとか、また第５波のウィルスはゲノム（全遺伝情報）の変異をうまく修復できなくなって自滅した可能性があるという研究結果もあります。

しかし、欧州では再び新型コロナウィルスの感染者が急増しています。日本でも寒くなれば欧州と同じ傾向になる可能性があります。寒くなれば換気の悪い室内での時間が増えますし、湿度も下がり、気管の粘膜が荒れてウィルスが入りやすくなります。

現在、ワクチンだけでなく、重症化予防のための「抗体カクテル療法」に加えて、飲み薬の実用化も近づき、新型コロナもインフルエンザなどとおなじように対処できるようになることが期待されますが、それまで、しっかりと感染対策をお願いします。

最後になりましたが、本年が皆さま方にとって、幸多く素晴らしい年となりますことを心から祈念申しあげ、新年のごあいさつといたします。

◆チーム医療の活動紹介◆

栄養サポートチーム（NST）の活動

栄養部　海野　悠

治療の影響で「食欲がなく食事がすすまない」「食事が食べられず体重が減っていく」といった入院患者さんの食事や栄養状態のお悩みに対してチームでサポートしている栄養サポートチーム（NST）の活動はご存知ですか？

NST（Nutrition Support Team, 栄養サポートチーム）は医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士の多職種で患者さんの栄養を総合的にサポートしています。

●NSTの目的

食欲不振などの理由で栄養状態に問題のある患者さんに適切な栄養療法を提案することにより、栄養状態の改善を図り治療効果を高め、疾患の治癒促進を促し在院日数の短縮につなげることを目的としています。

▲食欲不振食（１品食）

●NSTの活動

１、回診

当院のNSTチームは２チームで活動しており、火曜午前、午後、水曜午後の3回ラウンドを実施しています。昨年度は延べ1536名の患者さんにNST介入を行っています。依頼内容は食欲不振への対応、経腸・静脈栄養管理の相談、胃瘻増設などがあり、食欲不振の患者さんには食事内容や食形態を工夫したり、栄養補助食品の導入や静脈栄養の追加など栄養状態を改善できるような提案をしています。食べる機能が弱い患者さんには嚥下チームと連携して食べやすい形態の提案をしています。その他にも緩和ケアチーム、褥瘡チームなど他のチームと連携して患者さんの治療を側面からサポートしています。転院時には転院先に内容をお伝えして栄養治療が継続できるようにしています。

２、勉強会

経腸栄養剤の特徴や栄養に関する知識を深めるために、NSTのスタッフ向けに勉強会を行っています。

▲NSTカンファレンスの様子

３、実務委員会

病棟ごとに実務委員を設け、NSTの活動の問題点などを話し合い効果が上がるよう活動をしています。

▲NSTラウンドの写真

※入院中に食事に関するお悩みがあれば病棟の医師や看護師を通じて一度NSTにご相談ください。

◆がん診療について◆

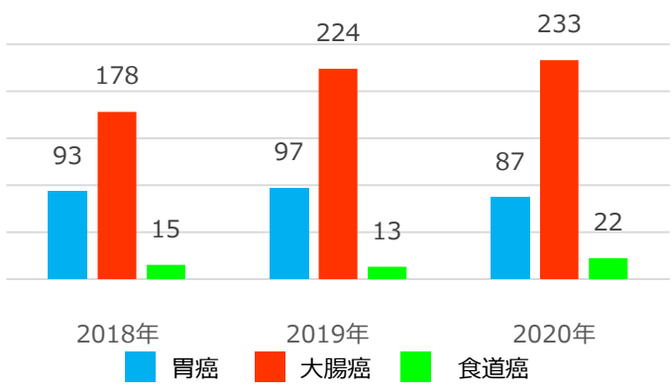
消化器がんに対するロボット手術

消化器外科部長・消化器センター長　　前田　清

当センターは大阪市の中核に位置し、地域がん診療拠点病院（高度型)として、地域医療機関と連携し、専門的の高い先進医療を提供する役割を担っています。

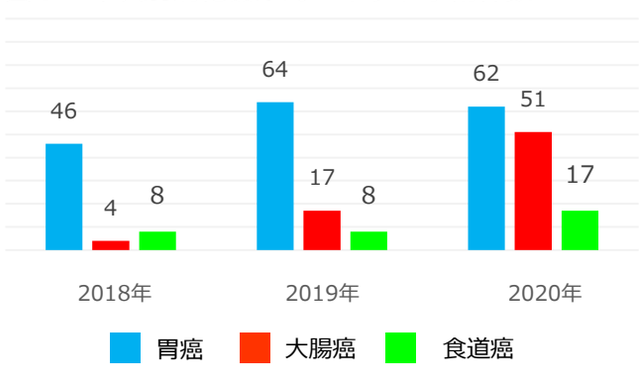
このうち、消化器外科では主に胃がん、大腸がん、食道がんに対して、年間280～350例の手術治療を行っています**（図１）**。

図１．年次別消化器がん全手術件数



当科では1993年の開院以来、全国に先駆けて腹腔鏡手術に取り組み、患者さんに負担の少ない治療を提供してまいりました。2017年からは手術支援ロボットDaVinciを用いたロボット手術を導入し、さらに精緻で質の高い手術を行っています。2021年10月時点では消化器外科領域におけるロボット手術の保険適応は食道、胃、直腸に限られていますが、今後、適応領域が拡大していくことが予想されています。このため、当センターでは2020年1月より最新型ロボットDaVinci Xi**（図２）**を2台に増やし、手術件数増加に対応してきました**（図３）**。

図３．年次別消化器がんロボット手術件数



DaVinci Xiでは３Dカメラで臓器を立体視でき、最大15倍に拡大できるズーム機能を有するため、術野の微細な血管や神経、剥離層の認識が容易となりました。さらに多関節機能、手振れ防止機能を有するロボットアームにより胸腔や骨盤腔の狭い空間でも繊細な手術を行うことが可能となっています。

海外からは従来の腹腔鏡手術に比べて手術時間は要するものの、合併症が少なくなることが報告され、術後の嚥下、排尿、性機能も良好である可能性が示されています。

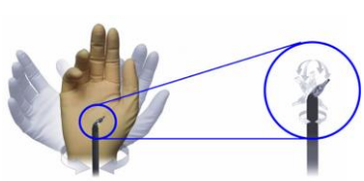
また、直腸癌では術前治療も併用し、肛門温存率も向上しています。

当科ではロボット手術のプロクターなど日本内視鏡外科学会で認定された外科医5名が、ロボット手術を担当しております。

その他、消化器内科、腫瘍内科、放射線治療科などのがん専門医とも連携したチーム医療を行っておりますので、紹介状（診療情報提供書）をご用意の上、地域医療連携室までお電話ください。

図２．DaVinci Xiとその特徴

・DaVinci　Xi



・人間の手のような多関節機能
・手ぶれ防止機能
・３Dカメラ
・ズーム機能（最大15倍）

●地域医療連携室（☎06-6929-3643）

◆治療最前線◆

新型コロナウイルス感染症の最新治療

感染症内科　副部長　白野　倫徳

新型コロナウイルス感染症が世界に拡大してから、2年が経過しました。

治療について、最初は手探りの状態でしたが、ほかの疾患に使用されていた薬剤が転用されたり、新薬が開発されたりして、治療の選択肢はずいぶん広がってきました。

・抗ウイルス薬

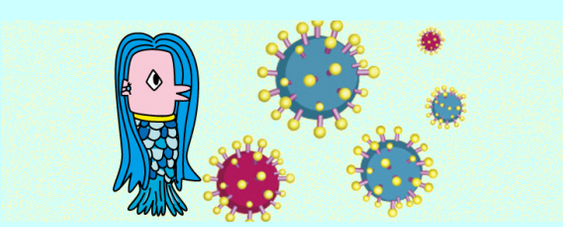
中等症以上の患者さんには、抗ウイルス薬であるレムデシビル（商品名ベクルリー）が用いられます。レムデシビルは点滴の薬剤ですが、近い将来、抗ウイルス薬の内服薬も承認される見通しです。

・中和抗体薬

2021年11月上旬の時点では、カシリビマブ／イムデビマブ（商品名ロナプリーブ、いわゆる抗体カクテル療法）や、ソトロビマブ（商品名ゼビュディ）が承認されています。これらの中和抗体薬は基礎疾患があるなど重症化のリスク因子がある軽症・中等症Ⅰの患者さんに使用され、重症化を予防する効果が期待されています。

・免疫抑制薬

新型コロナウイルス感染症の患者さんでは、免疫系の暴走が起こっていると考えられています。その暴走を抑えるために、炎症を抑制するステロイドや、本来関節リウマチなどに使用されていたバリシチニブ（商品名オルミエント）などが用いられます。



その他の治療

・呼吸療法

自力で呼吸ができないほどの重症の患者さんには、気管内にチューブを挿入し、人工呼吸器により呼吸管理を行っています。より重症の方には、ECMO（体外式膜型人工肺）と呼ばれる機器を使用し、肺への負担を和らげるようにしています。

最近はHFNC（高流量鼻カニュラ酸素療法）と呼ばれる方法で気管内にチューブを挿入せずに高流量の酸素を吸入する方法や、一時的にうつぶせになることで肺への負担を減らす伏臥位療法など、薬物療法以外の管理法も進歩してきています。

・抗凝固薬

新型コロナウイルス感染症の合併症として、血管の中で血液が固まってしまう血栓症が起こりやすいことが分かっています。リスクがある方には、血液が固まるのを防ぐヘパリンを持続的に静脈注射することで、血栓ができるのを予防しています。

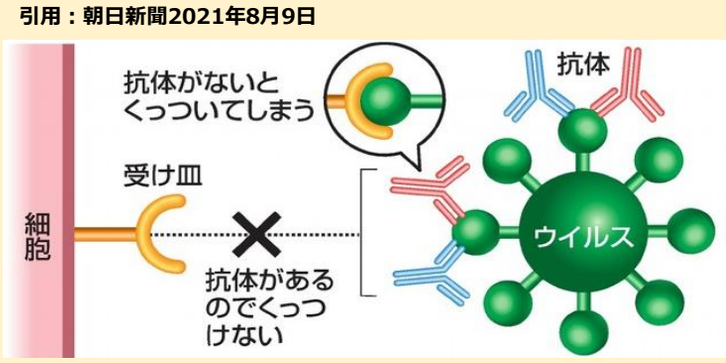
・ワクチン

新型コロナウイルス感染症のワクチンは、感染予防、発症予防、重症化予防など、あらゆる予防効果に優れていることが示されています。3回目（ブースター）接種で予防効果をより高め、持続させることが期待されています。

治療法やワクチンが充実してきたとはいえ、感染予防のためにはマスク着用、手指の消毒、換気、ソーシャルディスタンスなどが基本であることには変わりありません。
せっかく身についた感染予防行動を、これからも続けていきましょう。

図1 新型コロナウイルス感染症治療のまとめ
引用：新型コロナウイルス感染症COVID-19診療の手引き 第6.0版　　2021年11月2日

図2抗体カクテル療法の仕組み
引用：朝日新聞2021年8月9日



連携登録医のご紹介（五十音順）

かかりつけ医とは、病気になったときなどにすぐに相談できる地域にある医院やクリニック、診療所などのお医者さんです。日常的に相談でき、緊急の場合にも対処してくれるかかりつけ医をもちましょう。

日常の診療・健康管理はかかりつけ医で　専門的な検査・治療は当院で　病状が安定したら再びかかりつけ医で

中村耳鼻咽喉科

院　長　中村　有希（なかむら　あき）
診療科　耳鼻咽喉科
住　所　大阪市都島区都島北通1-3-18
電　話　06-6925-7833

外来	月	火	水	木	金	土
午前（9:00～12:00）	○	○	○	○	○	○
午後（16:30～19:00）	○	○	○	○	○	×

※土曜日は9:00から13:00　土曜の午後、日曜、祝日は休診

医院外観

院長あいさつ

耳鼻咽喉科のすべての疾患に対し診察しており、病状から必要と判断した場合、検査・手術等目的に大阪市立総合医療センターをはじめとする専門病院へご紹介しております。
　補聴器外来を木曜日の午前中に予約制でおこなっていますので、補聴器の装用をご希望の方や必要か迷っておられる方は受診時にご相談ください。事前に診察・検査の上で補聴器外来の予約をいたします。
わかりやすい説明を心がけ、安心して診察をうけていただくことで、地域医療に貢献できればと考えております。

さいじょうクリニック

院　長　西條　雅康（さいじょう　まさみち）
診療科　整形外科、リウマチ科リハビリテーション科、外科
住　所　大阪市都島区都島南通り2-14-25
電　話　06-6927-2727

外来	月	火	水	木	金	土
午前（9:00～12:30）	○	○	○	○	○	○
午後（16:00～19:00）	○	○	×	○	○	×

※水曜、土曜の午後、日曜、祝日は休診

西條院長

院長あいさつ

地域の整形外科として、怪我などによる痛みやしびれの治療、リウマチについて専門性の高い診察と治療のほか、外来リハビリテーションと在宅リハビリテーションに注力した医療サービスを展開しています。
また、交通事故で怪我をされた方の診断・治療や支援にも力を入れております。
京橋地域のみならず、隣接区域の皆さまにも、
「来てよかった」とお喜び頂けるクリニックを目指して職員一同努めておりますので、ご不安なことがあればどうぞお気軽にお越しください。

小林産婦人科

院　長　小林　史典（こばやし　ふみのり）
診療科　産科、婦人科
住　所　大阪市都島区都島北通1-14-24
電　話　06-6924-0934

外来	月	火	水	木	金	土
午前（9:00～13:30）	○	○	○	○	○	○
午後（17:00～19:00）	○	○	○	×	○	×

※木曜、土曜の午後、日曜、祝日は休診

医院外観

院長あいさつ

妊娠、出産は1人1人いろんな経過をたどります。豊富な知識と経験を生かし、母児ともに安全で満足のいく出産をしていただくためのお手伝いをさせていただきます。
また、健康で快適な生活を送っていただけるように、定期的な婦人科検診をおすすめしています。ご自分の病状を理解していただき、ゆったりとした空間の中で、納得のいく治療を受けていただけるよう説明させていただきますので、お気軽にご相談ください。

得能クリニック

院　長　得能　永夫（とくのう　ひさお）
診療科　整形外科,内科,脳神経外科,リハビリテーション科
住　所　大阪市都島区高倉町1-11-3　1F
電　話　06-6925-3301

外来	月	火	水	木	金	土
午前（9:30～12:00）	○	○	○	○	○	○
午後（16:00～19:00）	○	○	○	×	○	×

※木曜、土曜午後、日曜祝日は休診

クリニック外観

院長あいさつ

当院は、患者さんのクオリティ・オブ・ライフ（＝生活の質）の向上を第一に考えた治療とケアを目指しております。
ひどい腰痛や肩こり、関節痛、あるいは外傷による運動機能障害を抱える患者さんの訴えに耳を傾け、痛みを和らげるのはもちろんのこと、自立した生活を送ることができるよう、全力でサポートいたします。
また、慢性の病気や生活習慣病などの予防にも力を注いでいきたいと思っています。
東洋医学も取り入れた治療を行っています。
安心して気軽に受診いただければ幸いです。

はやかわ眼科

院　長　早川　公章（はやかわ　まさあき）
診療科　眼科
住　所　大阪市都島区都島本通3-24-7　1F
電　話　06-6922-8998

外来	月	火	水	木	金	土
午前（10:00～12:30）	○	○	○	×	○	○
午後（15:00～19:00）	○	○	×	×	○	△

※水曜午後、日曜、祝日は休診　△土曜午後14:30～16:30
※木は手術日(完全予約制)

早川院長

院長あいさつ

目のご病気や、目のことでご不安を感じられた時、お気軽に受診していただけるように心がけております。
最新の手術機器を導入し最新の手技による安全・安心な手術を行います。
より一層地域の医療に貢献してまいりますので、どんな些細なことでもお気軽にご相談ください。
患者様に、より満足していただける眼科を目指し、地域の人から愛されるクリニック作りをしていきたいと思います。

天野クリニック

院　長　天野　祐一（あまの　ゆういち）
診療科　整形外科、内科、リウマチ科
住　所　大阪市都島区大東町2-5-24
電　話　06-6927-7500

外来	月	火	水	木	金	土
午前（9:00～12:00）	○	○	○	○	○	○
午後（15:30～19:00）	○	○	○	×	○	×

※木曜、土曜午後、日曜祝日は休診

天野院長

院長あいさつ

昭和59年から勤務した淀川キリスト教病院では、約1000例の手術を執刀。
平成4年に都島区大東町に開院しました。
開業前には淀川キリスト教病院整形外科に勤務しており、救急での骨折、外傷は元より腰痛、膝痛などの慢性疾患、関節リウマチなどの自己免疫疾患について外来患者さん、入院患者さんを多数受け持っておりました。
開業してからは地域医療に携わるものとして内科疾患、高血圧症、糖尿病、脂質異常症、喘息、アレルギー疾患などの患者さんを診察しております。

武内小児科・内科

院　長　武内　真有（たけうち　まゆ）
診療科　小児科、内科
住　所　大阪市都島区善源寺町2-3-25
電　話　06-6922-4158

外来	月	火	水	木	金	土
午前（9:00～12:00）	○	○	○	○	○	○
午後（16:30～19:00）	○	×	×	×	○	×

※火曜・水曜・木曜の午後、第1・第3土曜・日曜・祝日は休診です。
※第2・第4・第5土曜は診療しております。

武内真有先生と
武内治郎先生

院長あいさつ

当院は、都島区で開業以来40年以上にわたり小児科診療をしてまいりましたが、２年前より武内真有医師を迎え、内科診療も始めました。小児科は、一般的な疾患や各種予防接種、健診とともに、専門医によるアレルギー疾患も診療しています。内科は一般的な内科疾患を始め、高血圧症、脂質異常症や糖尿病専門医による注射薬等も含めた糖尿病などの診療をしています。
小児科、内科ともに必要時には大阪市立総合医療センターを始め、近隣医療機関へご紹介します。アットホームな雰囲気ですので、お気軽にご来院ください。

栄養だより

寒い冬も元気に！
食物繊維で免疫力アップ

●●● 栄養部　田中　茜月

～食物繊維の働き～
- 便秘予防などの整腸効果
- 糖の吸収をゆるやかにし、血糖値の上昇を抑える
- **善玉菌（麹菌、納豆菌、ビフィズス菌など）のエサとなり、腸内環境を整え免疫力を上げる**

今回使用したレシピの中で食物繊維を多く含む食品（100ｇあたり）

普通のお餅は 0.5g

玄米もち 2.5ｇ

まいたけ 3.5ｇ

食物繊維の摂取目標量（食事摂取基準2020年版）
成人男性：21g/日以上
成人女性：18g/日以上

●**食物繊維を多く含む食品**
大豆、玄米、ごぼう、きのこなど

●簡単♪お正月レシピ

【～玄米餅のお雑煮～】

善玉菌を含む「味噌」と、食物繊維を多く含む食品（善玉菌のエサとなる食品）「玄米」「きのこ」を使用することで、腸内環境を整え免疫力を上げることができます♪

＜栄養成分：1人あたり＞
エネルギー：239kcal
たんぱく質：6.1g
脂質：1.6g　炭水化物：51.1g
食塩相当量：1.5g　食物繊維総量：5.6g

材料（1人分）
- 玄米餅　2個
- 人参　10ｇ
- 大根　20ｇ
- まいたけ　10ｇ
- みつば　1枚
- かつおだし　2/3カップ
- 白みそ　小さじ2強

～作り方～
①大根、人参を食べやすい大きさに切り、まいたけはほぐす
②玄米餅はゆでてやわらかくする
③鍋にだしを入れ沸騰したら、①を入れる
④野菜に火が通ったら②と、白みそを入れてできあがり

●外来にて、栄養相談・栄養指導行っています。ご希望される方は主治医へご相談ください。

インフォメーション

令和4年3月
市民医学講座WEB開催決定！

●今回はさくらホールではなく、WEB講演会になります。
詳しくはﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞで確認お願いします。

http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/about/shiminkouza.htm

大阪市立総合医療センター　検索

■発行責任者：大阪市立総合医療センター
〒534-0021
大阪市都島区都島本通2-13-22
地域医療推進委員会委員長　山根　孝久
http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/

大阪市立総合医療センター
３Hの理念
Heart For Public Service
広く市民に信頼され、地域に貢献する公立病院をめざす。
Humane
人間味あふれる温かな医療を実践する病院をめざす。
High-technology
高度な専門医療を提供し、優れた医療人を育成する病院をめざす。